

食材プロモーション事業を強化

シリーズ) 企業の農業参入 (第4弾) 株式会社ぐるなび

企業の農業分野の参入の取り組みとして、第4弾はグルメサイトを運営する(株)ぐるなびの取り組みについてご紹介したい。

料理人の発信力

日本最大のグルメサイトを運営する(株)ぐるなびが、農業との結びつきを強化している。同社の事業は飲食店の紹介サイトの運営だが(加盟飲食店137,000店舗)、掲載店舗に対して様々なサポートを行っていることは余り知られていない。その一つとして食材情報の提供、農業や漁業の産地や生産者を掲載紹介する食材プロモーション事業だ。食材プロモーション事業とは、ぐるなびの飲食店担当者が日々の店舗訪問の際にこだわり商材の情報を案内し、料理人とのマッチングを図る仕事だ。また、こだわり商材を料理人自らが産地に赴き自分の目で産地状況・商品を確認し産地と掲載企業が直接交渉を行えるよう、場を設営する取組もおこなっている。名料理人が使用すれば産地の知名度が上がりブランド化できるとして各自治体からはマッチングの引き合い案件が多数同社に寄せられている。そこで同社の食材プロモーション部門第1営業グループのグループ長である田染(たしぶ)氏に農業分野での活動状況について伺った。



(株)ぐるなび 田染グループ長

田染氏によれば、有名料理人になると多数の産地を抱えており、産地リレーや供給リスクも料理人自らが行う。当然、配送費や供給バランス等の経費が上乘せとなり、さらに産地との受渡し作業が負担となるが、差別化が図れ顧客満足度も上昇し経営面で安定が図れる事から、マッチングの引き合いは増えているとの事だ。外食産業の市場はここ数年の減少傾向に加え、年末に相次いで発生した有名ホテルや老舗飲食業で発生した不適切表示など消費者離れを引き起こしかねない課題も抱えている。この状況下で目利きに自信がある料理人が仕入に携わる事は、顧客に対し大きなアピールポイントになる。現在、食材プロモーション事業はぐるなびの飲食店担当者が日々の店舗訪問の際に拘り商材の情報を案内し、料理人とのマッチングを図るスタイルや、年に数回産地担当者と料理人を招いて商品展示会を開催するスタイルがある。またこの他に自治体からの要請で産地の設定はその自治体が行い、ぐるなび社は外食掲載企業の料理人を産地に連れて行うスタイルもある。農産物はコメ・野菜・果物の全般でその採用ポイントは、安全性は勿論だが量販店での仕入れ判断基準とは異なる事が多い。変形商品等の見た目はあまり重要視されない傾向だが他の同一商品と比べ食感や味、料理に合った加工特性が優れている点を評価しているとの事。例えば煮崩れが少ない馬鈴薯、新食感の野菜・果物、余り量販店では見られないカラフルな野菜等が注目されているとの事。商品展示会場では料理人から厳しい目で商品が検証されるが同時にレシピも産地に対して考案され産地側のメリットも高い。ひとたび採用となれば料理人が発信する情報に顧客やメディアが反応しブランド化される道が開ける事は勿論だが、品質が落ちれば容赦なくクレームが入る。只、産地としては常に厳しい目で評価され緊張感が保たれることから、品質の維持にはプラスの面もあると言える。(次ページへ続く)

(前ページより続く)

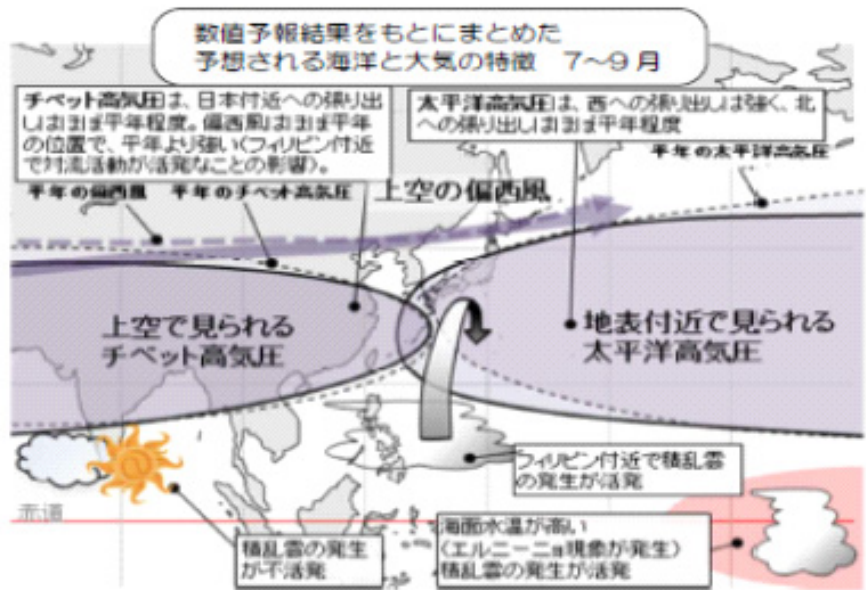
物流ロットやオーダー変更への対応と産地からみれば難しい対応もあり、その他の課題もあるが、ぐるなび社は現在取組んでいるこのような施策は料理人からのニーズも多いことから拡大していく方針で、新たな農産物販売のアプローチとして注目される。今後も同社の動向を報告していく予定だ。

気象庁発表 3か月予報

今年は冷夏ではなかった？今年の夏も結局暑いのか・・・

気象庁は6月25日に全国の向こう3か月予報を更新した。およそ2ヶ月前はエルニーニョが影響し太平洋高気圧が発達せず北日本は冷夏だと警戒していたはずだが予報を覆し修正したようだ。何故予報が変わったのか気になるところだ。

昨年とはとにかく暑かった。観測史上最高気温を記録する都市が続出、近畿地方は連続猛暑日を更新し熱中症発症者が多発しうんざりした記憶がよみがえってしまう。予報によると北日本は雨が平年より多いものの気温は平年並み、東日本は気温・降雨ともに平年並み、西日本では8月は平年より暑くなるが9月からは涼しくなるようだ。冷夏を覆した理由としてはフィリピン沖の雲の発生が活発化し太平洋高気圧の活動が強まりエルニーニョ現象よりも上回る影響が日本列島に出るようだ。普段の生活にも長期予報による備えが必要だが、農業においてはコメの作況を読むことや秋野菜の定植時期を決める重要な情報のために特に気象庁の発表に耳を傾け最善の策を講じる必要がある。今年は北日本では長梅雨に警戒、関東以西では高温と局地的なゲリラ豪雨、台風に必要なようになってくるであろう。



7～9月の天候の見通し			
		平均気温	降水量
北日本	日本海側	平年並	平年並or多い
	太平洋側		
東日本	日本海側		
	太平洋側		
西日本	日本海側		平年並
	太平洋側		
沖縄・奄美			

索引: 気象庁HPより

お詫び

No434号掲載のトモエ肥連通常総会開催記事にて記載の誤りがありました。お詫びして訂正致します。(誤) 澁谷 省一社長 (正) 澁谷 省一専務

台風8号は記録的な大雨をもたらす雨台風となりました。台風から離れた地域でも大雨の影響により、河川の氾濫などがあり、また田畑の冠水などで農作物への影響も心配です。

編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp